

# いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

## 「二つとない わたしのいのち」

富山市立新庄小学校

平成25年2月12日実施

### 【いのちの先生】

松井 弘美先生

・富山県立中央病院看護師長



<メッセージカードより>

(お母さんへ) お母さん産んでくれてありがとう。ぼくを産む時、早く生まれすぎだったそうだけれど、点滴と入院までして産んでくれてありがとう。お母さんのことずっと大好きだよ。

(〇〇へ) あんなに小さかった〇〇ちゃんもう3年生になったんだね。産まれるまでつわりがあったし、2ヶ月点滴をして時々くじけそうになる時もあったけれど、お腹をける赤ちゃん(〇〇ちゃん)と一緒にがんばれたよ。二人だから乗り越えられたんだよ。そして初めて対面した時うれしくて涙が出たよ。無事に産まれてきてくれてありがとう。時々叱ったりするけど、〇〇ちゃんのこと大好きです。いつも弟の世話ありがとうね。(ママより)



精子が3億倍の競争をして、卵子の中に入ったたった1個から僕が生まれてきたことを初めて知りました。赤ちゃんの模型の人形を持ってみると、とても重たくて、お母さんは大変だったと思いました。赤ちゃんはお母さんのお腹の中でとても速く成長していることが分かりました。お腹の中からがんばっているのだなあと思いました。人が生まれることは奇跡だから、その命を大切にしていこうと思いました。

産まれてくるのは簡単で楽なことだと思っていました。でも、精子は戦って負けたら死んでしまいます。生まれてくることはおめでたい、という意味がよく分かりました。自分が生きていることがとてもうれしくなりました。命はお金では買えないかけがえのない贈り物だと思います。